

第1回 2012-2014 FIH 女子ワールドリーグ ラウンド2

日付	2013年2月21日 10:00~11:50		
場所	インド/ニューデリー	天候	晴れ
試合	第3戦	通算結果	日本 2勝1分(SO1勝)

Country

日本
JAPAN

RESULT

Full Time	1	-	0
Half Time	0	-	1
Shoot-Outs	3	-	2

Country

ロシア
RUSSIA

Start	No.	Name	Card
✓	1	大家 涼子(GK)	
✓	2	伴田 久美	G2分
✓	3	坂井 志帆	
✓	4	小野真由美	
✓	5	大田 昭子	
✓	6	岩尾 幸美	
✓	7	中川未由希	
✓	8	駒澤 李佳(C)	
✓	9	三橋 亜記	
✓	10	新井 麻月	
5	11	加藤 彰子	
13	12	西村 綾加	
	13	田中 泉樹	
20	14	植田 彩	
✓	15	永井 友理	
11	16	深野 加弥	
26	17	錦織 えみ	
	18	吉川 由華(GK)	
監督	柳 承辰		
UMPIRE	LIU XIAOYING(CHN)		

Start	No.	Name	Card
	1	MALAKHOVA MARIA(GK)	
✓	2	VASILEVA DARIA	Y 56分
58	3	GONCHAREVSKAYA ELIZAVETA	
7	5	SHUMILINA KRISTINA	
	20	DORONINA YANA	
✓	7	NIKITINA MARIA	Y 65分
✓	8	IVANOVA TAMARA	
✓	28	SVEZHENTSEVA KSENIA	
✓	13	KRASNOPEROVA ALINA	G8分
13	11	GUTENEVA ANNA	Y 32分
13	12	KONDRATIEVA NATALIA	
✓	14	CHEKHOVA NADEZHDA	
✓	15	DREPENKINA MARGARITA	
✓	16	PETROVA OLESYA	
✓	10	SHABUROVA EKATERINA	
✓	18	SEREZHKINA OXANA(GK)	
8	19	SOROKINA EVGENIA	
✓	23	ZHASHKOVA ALEXANDRA	
監督	ELENA GURIEVA		
UMPIRE	TOH LI MIN(SIN)		

SHOOT-OUT COMPETITION

Country	Min	Name	Action	Score
RUS	13	IVANOVA TAMARA	FG	0-1
JPN	69	三橋 亜記	FG	1月1日

Country	Name	Result	Country	Name	Result
JPN	新井 麻月	○	RUS	SVEZHENTSEVA	○
JPN	中川未由希	×	RUS	KRASNOPEROVA	×
JPN	永井 友理	○	RUS	SHABUROVA	○
JPN	西村 綾加	×	RUS	DREPENKINA	×
JPN	駒澤 李佳	○	RUS	IVANOVA	×

ワールドリーグ ラウンド2の第3戦は、世界ランキング20位のロシアとの対戦である。
 (前半)日本のセンターパスにより試合は開始された。立ち上がりペースをつかみたい日本は、リズムよくボールを回しながら、相手コートに攻め込もうとするが、サークルにかけての縦パスが通らずリズムをつかむことができない。逆にロシアは、縦パスをカットしては、前線へロングボールを入れていくパターンである。最初のチャンスは日本であった。10分、サークルレフト側より新井が突破をはかりシュート。相手GKがセーブしたりバウンドボールを駒澤がカットしPCを取得。しかし、このチャンスをいかすことができなかった日本は、逆に、13分、中盤で縦パスをカットされると、サークル付近にいるFWに素早くつながれ、2対1の場面を作られ、ドリブルでサークルインを許すとリバースで直接ゴール左上へ決められた。気を取り直し、ボールを展開しながらチャンスを伺う日本であるが、シュートチャンスを決めることができず、少しずつ重苦しい雰囲気の中で試合が進む。そして足が止まったかと思われた22分にPCを取得しチャンスを迎えた。このチャンスをいかしたい日本は、坂井がドラックシュートを放つが、クロスバーにあたるなど、ネットを揺らすことはできなかった。その直後、24分には手痛いミスからPCを奪われたが、キャプテン駒澤が体をはったDFを見せピンチを救った。この後も攻め続ける日本であったが、1点ビハインドで前半を終えた。

(後半)なんとか同点に追いつきたい日本は、ポジションと戦術に変化を加え後半に臨んだ。中盤からFWへ早めに入れていく立ち上がり、なんとかボールはゴール前を通過するが、FWとタイミングがあわない。48分PCを二本続けて取得するが、相手GKの壁は厚く崩すことができない。56分には小野からのセンタリングを新井がダイレクトでシュートするがGKに阻まれる。57分には加藤がPCを取得するが決まらず。65分にもPCを取得するが、ボールがとまらず相手ボールとなる。これで終わりかと思われた69分。中盤から中央を中川が二人かわして前線へ持ち上がる。このプレーを止めようと必死で止めにきたロシア。FHになったボールを23M中央より、素早く岩尾がゴール右側で待つ三橋にパス。このパスを三橋が迎えながらタッチしゴール右下へ決め終了間際に同点に追いついた。

(SO) 新井、永井、駒澤と粘り強くキープし決めると、GK大家もこれに応え、3人を止めるファインプレーで、日本が第3戦目を勝利した。

日本	14	シュート数	1	ロシア
	7	PC数	1	

次戦(第4戦) 2月22日(金) 20:00 ~ 日本 対 インド

記載責任者: 女子コーチ 長谷部謙二

